

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	精度管理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 3限	教室名	401・501教室
担 当 教 員	重松康之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
検査運営および精度保証に関する基礎的な考え方や技術の習得および発展的理解を目標とする。得た知識が臨床検査技師として業務を行う際に知識としてはもとより、状況を正確に分析する能力に繋げられることが最終目標とする						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験及びグループ討論						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座 「検査総合管理学」 医歯薬出版株式会社 および 配布資料						
《授業外における学習方法》						
与えたテーマについての推論、考察をレポートとして提出。日常的に「考えて」「分析し」「対策を立て」「実行する」習慣を身に着ける。						
《履修に当たっての留意点》						
グループ討論を短時間実施することにより「コミュニケーション能力」を向上させることが、専門知識の獲得と同等に極めて重要なスキルである。相手に話を聞き、自らの考えを言い、方向性をまとめる能力を培いたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の意義とチーム医療に必要な理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	臨床検査の意義と歴史経緯			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査管理の概念及び部門の特徴を理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	医療機関の組織と各検査分野の特徴および共通項について理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度保証の概念の理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	それぞれの検査分野での考え方を理解する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査前プロセス管理について理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	検査案内、他分野との連携、検体および患者の対応			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査プロセスについて理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	業務実施手順書、業務管理実施手順書、試薬・物品・機器管理			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査プロセスについて理解できるようになる。2	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	個人情報・医療安全・感染防止、財務管理		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査後プロセスを理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	結果の解釈、報告、検査システム、異常値報告		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理について理解できるようになる。 その1	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	基本的な統計学、誤差、単位		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理について理解できるようになる。 その2	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	精度管理手法、管理幅を外れた時の対応		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理について理解できるようになる。 その3	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	生理検査、細菌検査、病理検査等の精度管理		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部機関の精度保証について理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	ISO15189、外部精度管理、保健所等の査察及び審査について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	総論のまとめ	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	これまでの学習を体系的に整理する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディができるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	グループに分かれ与えられた事象についてもんだ点を指摘し、その対策等を呈する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディができるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	グループに分かれ与えられた事象についてもんだ点を指摘し、その対策等を呈する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディができるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	ケーススタディの総括		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	精度管理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 3限	教室名	401・501教室
担 当 教 員	重松康之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
検査運営および精度保証に関する基礎的な考え方や技術の習得および発展的理解を目標とする。得た知識が臨床検査技師として業務を行う際に知識としてはもとより、状況を正確に分析する能力に繋げられることが最終目標とする						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験及びグループ討論						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座「検査総合管理学」 医歯薬出版株式会社 および 配布資料						
《授業外における学習方法》						
与えたテーマについての推論、考察をレポートとして提出。日常的に「考えて」「分析し」「対策を立て」「実行する」習慣を身に着ける。						
《履修に当たっての留意点》						
グループ討論を短時間実施することにより「コミュニケーション能力」を向上させることが、専門知識の獲得と同等に極めて重要なスキルである。相手に話を聞き、自らの考えを言い、方向性をまとめる能力を培いたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度保証を実際に行うにあたってスキームの作成及び重点要素の確認ができるようになる。一検査前について一	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	実際に制度保証を行う際に同様に日常業務を構築し、多くの密接に絡み合っていることを理解し、その中で特に何が重要であるかを把握する。			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度保証を実際に行うにあたってスキームの作成及び重点要素の確認ができるようになる。一検査前について一	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	実際に制度保証を行う際に同様に日常業務を構築し、多くの密接に絡み合っていることを理解し、その中で特に何が重要であるかを把握する。			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度保証を実際に行うにあたってスキームの作成及び重点要素の確認ができるようになる。一検査前について一	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	実際に制度保証を行う際に同様に日常業務を構築し、多くの密接に絡み合っていることを理解し、その中で特に何が重要であるかを把握する。			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度保証が不十分であったことによる影響について理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	精度管理が適切に実施されていない結果を報告した場合、患者や臨床にどのような影響を与えるかを具体的に理解する。			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容およびグループ討論を振り返り、今後の専門教科の学習の重要性を理解できるようになる。	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	講義内容およびグループ討論結果内容について総合的に復習し、今後の専門教科の学習の重要性を理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第22回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第23回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第24回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第25回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第26回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第27回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第28回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第29回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第30回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				